



すぎした れい
杉下 怜 隊員

出身地 大阪府大阪市
主な経歴 ネブラスカ州立大学卒
趣味 旅行



CHECK



日々の研修や農業について、
Instagram で発信しています。
ぜひチェックしてみてください！

就農の夢をかなえるために

私は、山本農園で水稻を中心に小麦、菜種、ごぼう、ねぎなどの栽培のほか、土作りから収穫まで一連の農作業を手伝わせていただいています。

本州では珍しいキャビン付きの大型トラクターに乗って、^{こうき}耕起や^{しゅうか}代掻きをしました。また、操作の難しい田植機やトレンチャー、コンバインは、比較的作業の容易な圃場の中央部分だけ任せさせていただくなど、少しずつではありますが経験を積んでいます。知識不足で、機械の適切な取り扱いができないことや、修理方法が分からないこともありますが、山本さん



の親身なご指導のおかげで一つ一つ学びを重ねています。

なお、現在、滝川農業塾と合同の生育調査や北海道立農業大学校等での各研修会にも参加するほか、自宅での勉強も大事にしています。

農業奮闘記

一つの事業体としての農家には、高い営農技術と経営能力が求められます。

農業に携わって3年目になりますが、1年目は基本的な経営力不足に起因して、2年目は新規就農に係る莫大な初期投資により、失敗してきました。そのため、農家の経営継承をできないか相談した



ところ、滝川市の研修プログラムの存在を知り、夢だった農業を続ける道が見えてきました。現在、日中は農作業にいそしみ、夜は勉強や農業に関わる方々との交流を行っています。最高の環境にいられることに感謝してもしきれない思いです。



安全第一の農業を目指して

継承者がいない農家の方の第三者継承候補として、農業について学ばせていただいています。何かを作る仕事に携わりたく、前職のIT関係からまったく別の分野の農業に挑戦することを決めました。

お世話になっている由桐農場では、主に稲作、麦、そばの栽培について一から教わっています。初めて農業に携わり、今は大変さや楽しさ、問題点を少しずつ体感し始めているところです。

特に印象的だったことは、育苗ハウスから苗を取るとき、マットの下に根が張ってしまっていたため、取り出すのに苦労したことです。

まだまだ分からないことが多い状態ですが、任期の間に一つでも多くのことを学んでいこうと思います。



こんどう みちひと
近藤 倫仁 隊員

出身地 東京都世田谷区
主な経歴 IT関連企業勤務など
趣味 ゲーム、映画

経験を生かした農業へ

今後も農業への理解を深めていき、農業という比較的閉じられた世界を、少しでもオープンにして、多くの人に知ってもらえるよう情報発信を行っていきたいです。

また、農業は農機具などによるけがなど、危険を伴う仕事です。IT関連企業に勤めていた経験を生かし、業務のマニュアル化や、ICT技術を活用した作業内容のシステム化を行い、安全性への配慮や属人化の解消などを行っていければと



思います。

自分にできることは小さなことかもしれませんが、少しずつ前に進むことができますと考えています。



任期満了後の農業の継承に向けて

自分自身でシステム管理を行って、農業にICTを取り入れていきたいです。また、米、麦をベースに滝川の気候に応じた、新しい農作物も取り入れていきたいと思っています。

ちょこっと質問

地域おこし協力隊



◎滝川の好きなところは？

伊勢さん

道内のどこに行くにも、大体中間に位置しているので、出かけやすく、便利などころです。

近藤さん

生活していくうえで、買い物などに困らず、静かで暮らしやすい田舎なところ。

杉下さん

出会う人たちに温かく迎え入れていただいたことが印象深いです。よそ者扱いされても仕方がないという覚悟でしたが、ききでました。

◎滝川を選んだ理由は？

伊勢さん

もともとクラフトビール醸造に携わりたいと思っていたことと、引越越しを考えている中で、妻の出身地にも近かったので選びました。

近藤さん

新規就農者向けのイベントで丁寧に対応してもらい、地域おこし協力隊の制度に魅力を感じたからです。

杉下さん

米作りを続けたいという思いに加え、後継者として研修する滝川の協力隊プログラムは、向上心を持って取り組むほど成長できる機会につながりますので、ここで農業をやりたいと思いました。

地域を支える 新たな力

まちづくりに必要とされる要素の一つに「よそ者」があります。普段住み慣れたまちでも、外から来た人から見ればそのまちに新鮮さを感じ、自分達では気付くことのなかった新たな魅力を発見してもらうことができるからです。その点で地域おこし協力隊は、新たな魅力の創出や、外から来た人ならではの視点を生かし、まちづくりの一翼を担う存在となります。また、まちづくりだけでなく、介護や一次産業の部門で活躍し、地域を支える役割も担っています。地域おこし協力隊員は全国で年々増え続けており、令和4年度時点では、約6千人もの協力隊員が、活躍しています。

本特集で紹介した、3人の地域おこし協力隊の方々には、産業と農業のそれぞれの分野で、滝川市を盛り上げて、地域を支える新たな力となるべく、日々活動しています。

そんな彼らのこれからのご活躍にご期待ください！